

# 2020年度 事業報告書

2020年 4月 1日から

2021年 3月31日まで

学校法人 共立学園

# 学園概要

## 1. 法人の概要

名称 学校法人 共立学園（昭和44年2月21日法人設立）

代表者 理事長 内藤 芳雄

住所 大阪府和泉市伏屋町3丁目5番22号

電話 0725-55-2199

FAX 0725-57-2025

設置する学校

住所 大阪府和泉市伏屋町3丁目5番22号

名称 幼保連携型認定こども園 新光明池幼稚園

役員

理事 6名 監事 2名

評議員 13名

理事会 3回開催 評議員会 3回開催

職員 名

## 2. 事業計画

《教育方針》

園生活を通して、きちんとすべき時はきちんとできるように、又、自由に表現すべき時は、個性を發揮できるよう導いていく。

《教育内容》

お友達や先生との関わりあいを大切にし、それに加えて、多様な園外保育、さまざまな専門講師による指導や自然教育など、経験重視の保育を行っている。

《園児数推移》

		3歳児		4歳児		5歳児		①3～5歳計	
		クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数計	園児数計
定員	1号	5	60	3	60	3	60	11	180
	2号		20		21		21		62
H30年度	1号	5	102	3	71	3	84	11	257
R1年度	2号	5	102	3	85	3	72	11	259
R2年度	計	5	76	3	81	3	85	11	242

		0歳児	1歳児	2歳児	② 0～2歳園児数計	①+② 0～5歳 園児数計
		園児数	園児数	園児数		
定員	3号	12	18	18	48	290
H30年度		13	17	20	50	298
R1年度		12	18	22	52	307
R2年度		9	18	24	51	293

《保育時間》

開園時間：7：30～18：30

①教育標準時間：10：00～14：30

②保育標準時間：7：30～18：30

②保育短時間：8：30～16：30

《公定価格》

利用者負担金（基本保育料） 1号認定、2号認定（無償化）  
3号認定（各在住市で定められた額）

《上乗せ徴収》

特別活動費 1号、2号 月額 2,000円  
施設環境維持費 1号、2号、3号 2,000円  
教育拡充費 1号、2号 月額 3,000円（満3歳児のみ）

《実費徴収》

バス維持費 1号、2号 月額 3,600円  
給食費 1号 月額 4,500円（主食費1,500円 副食費3,000円）  
2号 月額 6,300円（主食費1,800円 副食費3,000円）  
保育教材費 3号 月額 1,000円  
布団リース代 2号、3号 月額 1,200円

《その他の費用》

入園受入準備費 30,000円（1号認定）

《延長保育料金》

1号認定子ども（2号、3号は別に定める）  
午前の部 午前7時30分～午前8時30分 400円（→「就労要件」利用可）  
午後の部 午後2時30分～午後4時30分 600円  
午後2時30分～午後5時30分 800円  
午後2時30分～午後6時30分 900円（→「就労要件」利用可）

《半日保育時の延長保育料金》

1号認定子ども（2号、3号は別に定める）  
午前の部 午前7時30分～午前8時30分 400円（→「就労要件」利用可）  
午後の部 午後2時30分～午後4時30分 500円  
午後2時30分～午後5時30分 800円  
午後2時30分～午後6時30分 1,000円（→「就労要件」利用可）

#### 《長期休暇の預かり保育料金》

午前7時30分～午後6時30分 1時間200円（給食440円）

#### 《行事》

遠足（年長、年4回、年中・年少・満3歳児、年3回）、参観日（年7回）、学年集会、クラス別懇談会（年3回）、七夕祭り、宿泊保育（年長、年中）、移動動物園、運動会、作品展、おもちつき、クリスマス会、クリスマスコンサート（鑑賞会）、生活発表会、水上運動会（年長）

#### 《施設関係》

園地面積 4,163.56㎡ 園庭面積 1,346.38㎡  
園舎面積 2,161.28㎡（RC造 2階建他2棟）  
保育室11室、乳児室・ほふく室2室、遊戯室1室、調理室1室、子育て支援室1室

#### 《設備関係》

各種ICTシステム導入により保育現場および事務処理の効率化を進めている。

#### 《遊具関係》

子どもが育つ遊びの環境および園内自然環境の維持・充実を踏まえ、植物が良好に育つための土壌改良、植栽追加、レンギョウトンネル設置等の工事により、「自然の遊具」として活用できるように園庭改造を行い、園児の身体能力の向上や感性を高める工夫を行った。これからの少子化時代でも必要とされる園づくり、幼児教育環境の向上を計った。

#### 《借入金関係》

旧体育施設（解体済）にかかる従来からの設備融資の元金残を平成27年度に商工中金から紀陽銀行に借り換え実行し、令和7年度中の完済に向け、その後も着実に約定返済を行っている。また平成29年度認定こども園整備工事に係る設備融資として平成28年度より福祉医療機構から2年据え置きで借入を行い、平成30年度からの元金返済がスタートし、その後も順調に約定返済を行っている。

## 2020年度 学校法人共立学園 事業報告

2020年度も、当学園の求める「子どもらしさ」「子どもの発想」を大切にしながら教職員一丸となって幼児教育・保育に取り組んで参りました。それには行政機関への種々課題軽減に向けた働きかけと並行して、教職員のモチベーションアップおよび「働き方改革」に係る労働環境向上等に向けて、様々な取り組みにより、学園スタッフ全員のワークライフバランスを充実させていくことが重要と考えています。加えて、近い将来に予測されている更なる少子化時代を踏まえ、当学園の教育内容の充実と当該内容のスタッフ共有、そして保護者はじめ地域や利害関係者への取り組み発信が大切であるものと考えています。

新型コロナウイルス感染症の収束は見えず、様々な対応が求められていますが、就学前施設としても、社会の受け皿としての社会資本を担っている意味でも、園児たちの教育・保育活動の継続とともに、居場所の確保。そして利用保護者の就労等支援として、現場スタッフは感染リスクの中、使命と役割に努めて参りました。今まで企画段階で進んでいなかった取り組みが一気に実現しようとしています。スタッフのテレワーク、オンラインによる懇談や YouTube による動画配信等、とにかく、登園自粛中の子ども達や家庭といかにかして「つながるか」に知恵を絞ること。そしてそれにより、今までにない新しい学園のあり方について考える機会を得ることが出来つつあります。

現時点では感染収束の見通しは不透明な状況にありますが、ワクチン接種がその対応策として期待されます。優先接種については国施策に準じて、進められていますが、国による新たなワクチン承認や大規模接種会場での接種が進みつつあり、就学前施設従事者も対象としたワクチン接種時期が待たれます。そして、接種開始に向けては、職員の在住市や勤務形態の違いによる差別が生じないようお願いいたします。限られた状況の中でも出来る限りの取り組みや手法を模索しながら、進めて参りたいと考えている所存です。そして、少子化が進行により今後の待機児童数の動向がどのように変化したとしても、それに対応出来る必要とする園づくりにむけてこれからも取り組んで参りたいと考えています。

### 【その他子育て支援活動・地域連携等】

- 園庭開放…年間12回開催
- キッズサークル（未就園児親子のつどい）…年間20回開催
- 子育て相談…随時開催
- キンダーカウンセラー事業…年間20回開催
- 地域連携活動等
  - ・幼稚園であそぼう DAY（園児と地域のこどもの交流会）
  - ・親子体操 ・作ろう DAY ・夕涼み会 ・動物とふれあい DAY
  - ・クリーンフェスティバル ・クリスマス会
  - ・人形劇 ・親子ふれあいコンサート ・天体観測会
  - ・その他